

令和8年度予算は 基本構想・基本計画の実現を加速し、 持続可能な区政の礎となる予算に

豊島区の令和8年度予算案が公表された。物価の高騰、人件費や工事費の上昇という変化の激しい状況のなか、学校改革をはじめ市街地再開発事業や公共施設更新等の増大する投資的経費にも対応し、区民サービスの向上と持続可能な行財政運営という困難な課題を両立されていく予算であると説明している。

公共施設更新を計画的に進める

一般会計の当初予算規模は、1689億86百万円、対前年度比0.9%マイナスとなり、令和7年度に次いで過去2番目の予算規模となった。

区は、7年度を始期とする「豊島区公共施設更新計画」（学校改革を含む）とともに今年度中には「豊島区公園等再構築プラン」を策定するなど、将来の公共施設の更新にか

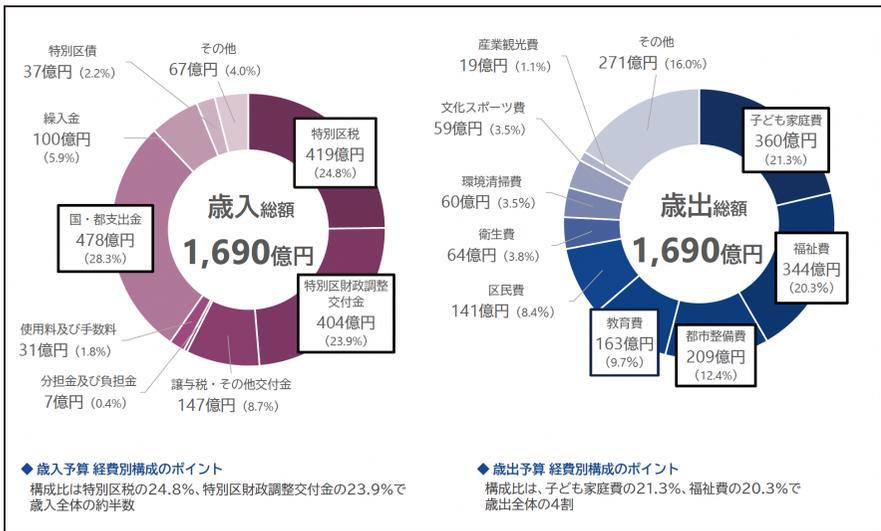


令和8年度豊島区予算案を説明する高際みゆき区長

8年度の重点テーマに 「福祉」「健康」「産業振興」

かる方針の整備を進める。建設費や人件費等が大幅に増加するなか、これらを着実に実現し区民ニーズの変化にも柔軟に対応するため、「義務教育施設整備基金積立金」に26億円増となる50億円、「公共施設再構築基金積立金」に24億円増となる40億円を計上する。その一方で、「財政調整基金」の取り崩しは行わず、特別区債は市街地再開発事業や千川中学校改築事業等、財源利率などの有利な条件のもと活用するとして37億円を計上している。

歳出の構成比は、子ども家庭費が最大の21.3%、次いで福祉費が20.3%と昨年を上回る割合を占めている。このほか増加率が大きいのは政策経営費が義務教育施設整備基金積立金や公共施設再構築基金積立金の増などによる64.7%の増、文化スポーツ費が池袋スポーツセンターの改修経費の増などに



よる19.3%の増が挙げられる。投資的経費を除く新規・拡充事業は267事業、60億円を計上している。7年度の重点テーマ「安全・安心」、「子ども・子育て

て支援」、「教育」を継続するとともに、高齢者・障害者施策、生活基盤である住まい支援を強化する「福祉」、新保健所整備を契機とし力を入れていく区民の「健康」、地域経済の持続的な発展を促進する「産業振興」の3つを新たな重点テーマとしている。

不合理な税制の 拡大が懸念

歳入では、特別区税は前年度比8.1%増の419億42百万円。このうち特別区民税は、納税義務者数や賃金の上昇等が続くと見込み、前年度比8.9%の増となる384億65百万円を計上している。

また、特別区交付金（特別区財政調整交付金）は、市町村民税法上人等分の調整税増加

を見込み404億円の増、「地方消費税交付金」は国内消費に伴い17億円の増、収益の分配や株価の上昇等による「配当割交付金」は5億円の増、「株式等譲渡所得割交付金」は17億円の増を見込んでいる。

一方で、8年度もふるさと納税による寄附金控除額の減収分は約33億円の見込みと引き続き大きい。

また、国の「令和8年度税制改正大綱」には、この「利子割交付金」「地方法人課税」「固定資産税」における都市と地方の偏在状況が指摘され必要な措置を検討する旨が記されていることから、不合理な税制改正の拡大が懸念されることが特記されている。

持続可能な財政基盤のために

高際区長は2月の区議会での所信表明でも

「将来へ備えた予算を編成できな一方、令和7年度の不合理な税制改正の影響額は107億円まで上昇すると見込まれ、この額はお

およそ学校1校の改築経費に当たります。これまでの流出累計額650億円で申し上げれば、今から2038年までの12年間にも及ぶごみの収集・運搬・処理に係る経費に相当します。区政連絡会等の場で、区民の皆様からも、ふるさと納税による税の流出を危惧する声が増えており、今後も引き続き、国に対して、制度の廃止を含めた抜本的な見直しを求めてまいります。

議員各位におかれましても、本区が作成したチラシ等を活用され、「ふるさと納税」を利用することによって、区民のために使われるべき税金が他自治体に流出し、これまでの行政サービスが受けられなくなる可能性がある「ことについて、区民の皆様への積極的な周知をお願いいたします。」と特段に述べられている。

※区議会予算委員会は2月10日（火）から3月24日（火）まで開会中の第1回定例会内で審議が行われています。

おかげさまで創業98年

新築 リフォーム まかせて安心

渡辺建設株式会社
www.watanabe-kensetsu.co.jp
〒171-0052 東京都豊島区南長崎1-22-16 TEL 03-3951-1161